

平成23年度予算

市議会からの要望事項

平成23年度予算を議決するに当たり、市長に対して15件の要望を行いました。

1 先の東日本大震災により、想像を絶する甚大な被害をもたらした。今一度、笠岡市地域防災計画及び笠岡市耐震改修促進計画の見直しを行うこと。

2 現在、笠岡市では年4回の行政広報番組を作成し、笠岡放送で放映している。笠岡放送に接続していない島しょ部住民と情報共有できるよう、公民館等にDVD等を配付すること。

3 消防団員の確保については、団員の定年の引き上げを行つたところであります。しかし、勤務地及び住所地などにより入団できない人もおり、団員の確保が困難な一因となっている。団員の確保が進むよう、勤務地、住所地の制約の緩和を行うこと。

4 美の浜分譲地について、さらなる適正な管理を行ない、分譲の促進を期すこと。

5 事前評価シート、事後評価シートは現在、公表されていない。政策形成過程で公表できないものもあるが、できる範囲で公表すること。

6 東日本大震災では役所も甚大な被害を受け、住民の情報を消失している自治体もある。今後、大地震等不測の事態に備えて、危機管理上、住民基本情報やデータなどの安全管理を図ること。

7 島しょ部へ介護施設の設置が進んでいることを考慮し、夢ウエル丸運航の目的に照らしてその効果を検証し、適正・効果的に運用すること。

8 放課後児童クラブの指導員は、児童への対応など多くの深刻な悩みを抱えている。実態把握に努め、指導員へのサポート体制の充実を図ること。

9 年々、厳しい猛暑が続いている。子どもの命と健康を守る安全・安心のため、公立保育所の冷房設備の設置充実を図ること。

10 飼料米について耕作放棄地を活用する育成事業を行おうとしているが、稲作以外の生産に対して補助する事業も検討すること。

11 平成23年度完成する道の駅や農道空港のイベント・大空と大地の力」

ニバルに関して、菜の花やヒマワリなどは宣伝効果が大きいので、笠岡を訪れる方が年々増えるような事業推進を計画的に努めること。

12 昭和51年に寺間排水機場が稼働開始され、長い年月が経過している。年次的に修繕を実施しているが、本体等の更新計画を視野に入れた整備事業を進めること。

13 近年、山林が荒廃しているので、豪雨時の災害も懸念される。雨水対策などの治山維持をしていく上で、国の補助金等の研究をして補修事業を進めること。

14 防犯灯・街路灯について、現在の蛍光灯をLEDに移行すれば耐用年数が伸び、電力量が抑えられ、維持管理料が削減できる。LEDへの切り替えをお願いしたい。また、防犯灯・街路灯の設置灯数を増加できるよう努力すること。

15 市民の憩いの場である公園遊具の管理・設置状況の確認をして、安全で安心して遊べる遊具の充実を図り、事故が無いように努めること。